

*Meiji Gakuin Alumni Assosiation News*

# 明治学院同窓会 News | 2014 MAY

Do FOR OTHERS 第13号より抜粋



明治学院同窓会  
Meiji Gakuin Alumni Assosiation

# 今後3年間の私の抱負 (同窓生の親睦から学院への支援へ)

明治学院同窓会会長

内山 功



2013年10月19日の評議員会・

総会において、2014年4月から  
3年間会長を務めることになります  
た。

前の任期は「明治学院創立150  
周年」と言う有意義な時を同窓生と  
共に過ごせたことを感謝いたします。  
ところで、同窓会は「従来の親睦を  
中心とした運営から、それにプラス  
して学院を支援する」組織に進化し  
なくてはなりません。

その実現のために、良識ある「真  
の明治学院人」の力を結集すること  
により「同窓会組織の充実」「地域  
支部の充実」を目指し、最終的に「オ  
ール明治学院校友会の実現」へと繋  
げたいと考えています。

同窓生皆様のご支援、ご協力をお  
願い致します。



その下地として、会議体であり執  
行機関である「理事会」の位置づけ  
を考えなければなりません。理事会  
(正副会长を含む)は同窓生の代表  
者の集まりであるが、それは決して  
『偉い人』の会議体ではありません。  
それは「奉仕者」という役割を持つ  
た人の会議体であり、常に「同窓生  
(地域支部)に目を向けて」同窓会運  
営をしていくことが大切な役割なの  
です。私はこのような気持ちで、今  
後3年間(2014年4月から  
2017年3月)の同窓会運営をし  
て参ります。

## 2014年度～2016年度 副会長就任挨拶

明治学院の151年からを  
応援する立場から

明治学院同窓会  
副会長

阿部晃久



2013年10月19日の評議員会に  
おいて承認され、2014年4月よ  
り副会長を務めることになりました

阿部晃久と申します。明治学院同窓  
会は現在、2006年に設立された  
大学校友会と連携しながら運営され  
ています。校友会は在校生及びその  
父母、教職員、そして卒業生を網羅  
した組織である一方、同窓会は中学

校、高等学校、そして大学すべての  
卒業生により構成された組織である  
ことから、全国の同窓生の力を結集  
しオール明治学院発展のための活動  
を考え、実行していく組織であると  
考えます。そのために、これから約  
3年間は卒業生の属する全国地域支  
部に対する理解を更に深め、地域支  
部の活力を高めていくための方策を  
考え実行していきたいと思います。  
皆さまのご協力をお願いいたします。

明治学院の創立151年を迎えて  
同窓会の新たな発展をめざし！

副会長として2期目になります。

内山会長のもと同窓会活動の原点、  
基本である支部活動の充実に力を入  
れてゆきたい！

この3年間 東京世田谷支部の活  
動を通して本部の運営に携わりまし  
た。この経験を生かしより効率の良  
い透明性の高い本部活動にしたいと  
思っています。新しいイベントを試  
み、時代と共に変えなくてはと感じ  
ています。

一人でも参加できる、参加しやす  
い、学院に貢献したい、楽しい同窓  
会活動をめざします。全国89支部の  
それぞれの地域による特色があり、  
微力ではありますが、内山会長の  
もとに学院、校友会と話し合いを持  
ちつつ、更に新たに新たな同窓生の輪  
を広げていきたいと思っております。

同窓会副会長としての2期目を迎  
えます。

学院の教えのものに巣立つたもの  
が、年齢を問わず、職業を問わず、  
いつでもどこでもお互いの気持ちで  
話し合える。それが同窓会というも  
の。そんな思いで同窓生の新たな繋  
がりを求め続けています。

竹越浩一



明治学院の  
新たなつながりを希望して  
明治学院の  
同窓会副会長としての2期目を迎  
えます。

明治学院同窓会  
副会長

大嶋國枝



# 学院創立150周年を通して思う

同窓会企画 石川謙

## 御礼

まず、明治学院創立150周年事業を通じて、皆様から、この一年間、それぞれの同窓会企画イベントに対して、多大なご厚情とご支援を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

## 求めたもの

この一年『150周年』と言う大きなテーマの中で、今までに無い活動成果を求められる年だと感じておりました。ヘボン先生の想いが、ヘボン式ローマ字、和英語林集成等、いろいろ

な成果を生み出す中、時を経て、『明治学院』へと結実し、井深梶之助氏へ継承され、同窓会の形成に至り、今へとつながっている『成果』を強く感じさせられたからでした。

## 変化と不变

変化が組織に新たな発展を生みだすとよく言われます。同窓会は組織

ですから変化が必要だとの思いはありました。ただ、150周年という一度しかない年に大きな変化を前年から一年計画で実行出来るほどの力は、私に無いことも解っていました。

『ユニークな』とは、『他にない姿形』だと考えました。受け狙いは止めようと関係者間では話し合つておりました。

## ユニークなイベント

『明治学院同窓生でなければ出来ない形式のもの』同窓会のユニークさ』との想いでした。



ホームカミング同日に行われたチャペルでの音楽礼拝。イエス・キリストの生涯をクラシック音楽とジャズで綴りました。



11月23日、ホームカミングでの懇親パーティにて



## 実施イベント

- ①実業界で活躍する同窓生による講演会
- ②学院卒業嘶家による落語会
- ③音楽形式記念礼拝
- ④記念ホームカミング

## 成果と反省

①同窓会主催による同窓生学内講演会は、初の試みであり実践に踏み切れたことは、一つの成果と捉えています。ただ、授業優先の大原則があり、大教室確保は、水曜日の夕方に限られたため、参加可能学生・卒業生共に少ないとの結果に終わり、時間を割き講演していただいた方は大変申し訳なく思っています。今後は、もっと周到な動員計画と周知活動が必要です。

②落語会には、6人の嘶家さん（全て学院出身）がスケジュール調整して高座をもつていただきました。参加者も270名を数え、成功裏に終了できたと思います。

③変化とユニークさに最もこだわったのが、この音楽形式での礼拝でした。当初の目標である『全て卒業生で組織する』からは、多くのプロ演奏家を入れたことで実現は出来ませんでしたが、チャペルにおいて、イエス・キリストの生涯を音楽で表現することで、キリスト者でない卒業生にも、学院誕生（日本におけるミッショニン系学校の創設）から苦難（戦争）に遭遇し、それにも屈せず、今（150年）を迎えた学院を感じていただければと思い、参画者全員で作り上げました。説教者を立てなかつたことや礼拝のもつ威厳性・厳格性からズレているのではとのご意見があつたことは承知しております。しかしながら、主への贊美の普遍性は十分表現できたと思います。また、

生で組織する』からは、多くのプロ演奏家を入れたことで実現は出来ませんでしたが、チャペルにおいて、イエス・キリストの生涯を音楽で表現することで、キリスト者でない卒業生にも、学院誕生（日本におけるミッショニン系学校の創設）から苦難（戦争）に遭遇し、それにも屈せず、今（150年）を迎えた学院を感じていただければと思い、参画者全員で作り上げました。説教者を立てなかつたことや礼拝のもつ威厳性・厳格性からズレているのではとのご意見があつたことは承知しております。しかしながら、主への贊美の普遍性は十分表現できたと思います。また、も来場者用名札ケースからして足りていなければと思いで参画者全員で作り上げました。説教者を立てなかつたことや礼拝のもつ威厳性・厳格性からズレているのではとのご意見があつたことは承知しております。しかししながら、主への贊美の普遍性は十分表現できたと思います。また、

大変申し訳なく思います。ある面の成功は、他面での失敗を招き、ご不自由、ご不満をお持ちになられた方々には、遅ればせながら、心よりお詫び申し上げます。

## これから

学院の活動に捧げる目的席上献金が20万円を超えたことは参列者の理解と感動を得られたと思いますし、何よりも同窓会主催イベントで『立ち見』を了承し、入場してくださった方々でチャペルが埋まつたことに達成感を覚えます。

④音楽礼拝につづく記念ホームカミングは、当初の想定（350名）をはるかに超える来場者（540名）でした。卒50年メダル授与はじめました。当初の目標である『全て卒業生で組織する』から、すばらしいステージであったと思います。但し、ここには大きな反省点も残しました。ひとつめは、チャペルでの着席と今まで進行させたこと。ふたつめは、予想を超える来場者に飲食物が十分でなかつたことです。（そもそもなかつた）

この一年の終わりは、新たな学校法人明治学院・大学校友会・同窓会の飛躍の始まりだと思います。何も50年先を見通すべきだとは思いませんし、それは無謀です。

一つ目指したいことは、それぞれの組織・団体が機能的に一体化し、オール明治学院として、『独創的すがた』→『ユニークな明治学院』を実現していくためのどこかで一助になれたらと思います。

# フェアスタートの 原点は明学のDNA

明治学院大学同窓会会长  
**安田正克氏**

(株)フェアスタート代表取締役  
**永岡鉄平氏**



**安田** 永岡さんは、同窓会本部の講演会でも講師を務められました。本日は永岡さんの活動を多くの方々に知つていただこうと思ってお招きしました。よろしくお願いいたします。

**永岡** ところで、永岡さんは学生時代から色々なことをなさつていたそうですが、どんな学生だったのですか。

**安田** 正直、あまりいい学生ではありませんでした。でも1年目は真面目

**永岡** 今思つと笑い種ですが、生協学生委員会の名刺を配つていました。その頃です、学校から足が遠のいたのは、お金を儲けたいという不純な動機かなつたですね。でも1年目は真面目

**安田** 現在、代表を務めているフェアスタートも就職情報系の会社ですね。リクルートやその後の会社勤めで参考になつたことはありましたか。

に授業も出ましたし、サークル活動にも参加したいと考えていました。大学に入ると新入生歓迎パーティがあると思っていたのですが、明学は無かつた。なぜ新歓パーティをやらないのかとある生協職員に相談したら、昔は「生協学生委員会」というのがあって、そこがやつていたと教えてくれました。だったら自分たちで復活させようと活動を始めました。

**安田** 新歓パーティーは開催できたのですか。

一方で、お金があつても幸せでない人もたくさん見ました。お金を追い求めるリスクも大きくなる。歌舞伎町での仕事を通じて、その危うさを身をもつて知つたのが今の自分の財産になつています。

結局3年の時に大学に戻つたのですぐ、ゼミも取れず単位不足で半年遅れの9月卒業でした。

**安田** よくリクルートに入社できました。

たまたまリクルートの中途採用があつたので応募したら、運よくご縁をいただきました。

**安田** その後は大学院生向けの就職支援会社の立ち上げに参加したのですね。

**永岡** ええ。30歳で起業すると決めっていましたから、リクルートでこのまま20代を過ごすよりゼロから立ち上げる環境に身を置いたほうが絶対プラスになると考えて転職を決意しました。

**永岡** ええ。30歳で起業すると決めていましたから、リクルートでこのまま20代を過ごすよりゼロから立ち上げる環境に身を置いたほうが絶対プラスになると考えて転職を決意しました。

**安田** 現在、代表を務めているフェアスタートも就職情報系の会社ですね。リクルートやその後の会社勤めで参考になつたことはありましたか。



**永岡** 自分は一日でも早く社会に出たいと思っていたのに、働くことにネガティブなイメージを持っている若者が増えている現状に疑問を感じました。そんな中、「子どもと貧困」をテーマにしたシンポジウムに参加する機会がありました。貧困家庭に生まれた子どもは学歴が低く、同世代と比べて遅れたスタートラインからの出発となり、社会に出ても貧困から抜け出せないという話は大変衝撃的でした。その一例が児童養護施設だと。それから「貧困の連鎖」というテーマについて自分なりに出来ることを見つけないと養護施設でボランティアを始めたのです。

養護施設では18歳になると出でいかなければならぬので、アルバイトをしてお金をためてている子もいます。施設の子どもたちにとって働くのは当たり前のことです。就職に対しても前向きな子が多いのです。

**安田** でも現実は、親御さんや保証人がいないと採用を渋る企業も多くあります。

養護施設では18歳になると出でいかなければならぬので、アルバイトをしてお金をためてている子もいます。施設の子どもたちにとって働くのは当たり前のことです。就職に対しても前向きな子が多いのです。

**安田** 私は中小企業の経営者なので、養護施設出身者の雇用について関心が薄かった。永岡さんの話を伺って、ちょっと恥ずかしさを感じています。今後は施設出身の若者の雇用について、もっと目を向けていかなければと肝に銘じています。

同窓生の中には企業の経営者や要職に就かれている方もたくさんいます。これを読んで少しでもフェアスタートへの理解と支援の輪が広がっていくよう大学同窓会も力になつ

たいと思つていたのに、働くことにネガティブなイメージを持つている若者が増えている現状に疑問を感じました。そんな中、「子どもと貧困」をテーマにしたシンポジウムに参加する機会がありました。貧困家庭に生まれた子どもは学歴が低く、同世代と比べて遅れたスタートラインからの出発となり、社会に出ても貧困から抜け出せないといふ話は大変衝撃的でした。その一例が児童養護施設だと。それから「貧困の連鎖」というテーマについて自分なりに出来ることを見つけないと養護施設でボランティアを始めたのです。

養護施設では18歳になると出でいかなければならぬので、アルバイトをしてお金をためている子もいます。施設の子どもたちにとって働くのは当たり前のことです。就職に対しても前向きな子が多いのです。

**永岡** 自分は偏見もあるかもしませんし、一般的の学生に比べ就職率も低いのではないかでしようか。

**永岡** 実は就職率自体は高いのです。しかし、本人の適性ややりたいことよりも寮付きなどの条件面を優先する傾向が強く、結果的にミスマッチが起きやすいのです。そして、離職後は非正規雇用や女性は夜の仕事に流れていくケースも結構多い。私がフェアスタートを始めたのは、安易な同情心からではなく、働く意欲があるのに住まいなどの足かせを抱えて就活をしなければならない、これは大変「もったいない」と感じたからなのです。

**永岡** 学生時代の4年間は貴重な時間です。勉強はもちろんですが、それ以外のことにもぜひ挑戦してもらいたいと思います。

**安田** ありがとうございます。私は不良学生でしたが、それでも明学の「Do for Others」のDNAに導かれたスタートの支援を、夜間の定時制高校に通う高校生や片親世帯の子どもにも広げていきたいと思っています。

**安田** 最後に永岡先輩から現役学生ヘアドバイスをいただけますか。

**安田** ありがとうございます。社会経験がきっと仕事の幅を広げてくれると思います。

ついでに

いたい。その経験が社会に出て必ず役に立ちます。とくに明学は社会福

祉分野に力を入れていると聞いてい

ますが、大学から直接社会福祉の現

場に飛び込むのではなく、一度他の分野を経験して

から入ったほうがオールマイティになれるのでは

ないでしょうか。社会経

**永岡** 学生時代の4年間は貴重な時間です。勉強はもちろんですが、それ以外のことにもぜひ挑戦してもらいたいと思います。

**安田** ありがとうございます。社会経験がきっと仕事の幅を広げてくれると思います。

**永岡鉄平** / 2004年、明治学院大学経済学部卒業後、民間会社2社を経て2009年に起業を志し退職。2011年に児童養護施設等の子どもや若者たちの就職支援を行う「フェアスタート」を立ち上げる。2013年1月、特定非営利活動法人フェアスタートサポート設立。2009年、第1回社会起業プランコンテスト最優秀賞(内閣府地域社会雇用創造事業)受賞。1981年横浜生まれ。

フェアスタート : <http://fair-start.co.jp/>



原田ボランティアセンター長に寄付金を手渡す安田大学同窓会長はじめ幹部役員。

株式会社明治学院サービスは、  
学校法人明治学院の100%出資会社です。  
学校の周辺業務を事業化し効率的効果的な  
各種サービスの提供を行い、  
その収益を教育事業に還元することを  
目的としています。



#### 【主な業務内容】

##### ◆人材派遣ビジネス

明治学院(明治学院大学、高等学校、中学校等)及び教育機関や他大学を中心に学校事務に特化した人材派遣を行っています。学校関連企業として相応しい質の高いサービスの提供に努めています。

##### ◆明治学院白金チャペルでの結婚式

当事者のいづれかが、同窓生、現・元教職員、法人役員またはそれらの近親者の方であればお申し込みいただけます。本学はプロテスタンクトキリスト教信仰を建学の精神としており、礼拝に準じる儀式としての挙式を行います。

##### ◆学生総合保険・海外旅行傷害保険・火災保険・自動車保険(バイクを含む)・医療保険などの代理店業務を行っています。

##### ◆白金校舎パレットゾーンの食堂・横浜校舎のインターナショナルカフェの運営管理を行っています。



##### ◆新入生・在校生に対するお部屋探し・住替えのご相談受付、明治学院大学女子寮「セブンレンズ館」の運営管理を行っています。

##### ◆大学ロゴグッズ、バッハアカデミーのCD、自動販売機での飲料の販売を行っています。



株式会社 明治学院サービス

〒108-0071 東京都港区白金台1-2-37  
Tel 03-5421-1555 Fax 03-5421-1556  
URL: <http://meijigakuin-s.co.jp/>

#### 【お問合せ先】

明治学院同窓会事務局

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 TEL 03-5421-5190 (FAX 03-3441-0970) (事務取扱い時間 10:00 ~ 16:00)  
<http://www.meijigakuin-dosokai.jp/>